

令和7年度（2025年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	国語	科目（単位数）	現代の国語(2)	学年	1	類型	全クラス
学習目標	(1) 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら内容や書き手の意図を解釈する力をつける。・・・(知識及び技能) (2) 論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で、また、古典作品から読み取れる先人のものの見方、感じ方、考え方に触れる中で、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を高める。・・・(思考力、判断力、表現力) (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。・・・(学びに向かう力、人間性等)						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標					
年度初～1学期中間考査	現代の国語【視点を変える】木を見る、森を見る（齋藤重矢）	(知) 具体例とその一般化の関係を確認しながら、主張を的確に捉えている。 (思) 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 (学) 粘り強く本文の要点を把握し、学習課題に沿って視点を試してみようことを理解し、自ら論点における課題を調べようとしている。					
1学期中間～期末考査	現代の国語【認識を深める】水の東西（山崎正和）	(知) 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 (思) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 (学) 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。					
1学期期末後	現代の国語【言葉へのまなざし】「身銭」を切るコミュニケーション（内田樹）	(知) 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 (思) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 (学) 粘り強く筆者が事例で挙げたコミュニケーションについて理解し、今までの学習を生かしてメタ・コミュニケーションの在り方について考えを深めようとしている。					
2学期初め～2学期中間考査	現代の国語【メディアを考える】広告の形而上学（岩井克人）	(知) 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 (思) 「貨幣」や「広告」といったごく身近なものが、どのような本質を持っているかについての、抽象的な思考の展開を丁寧に読み、要旨を把握している。 (学) 粘り強く筆者の考える広告について理解を深め、学習課題に沿って資本主義社会における広告についての考察を、自分の言葉で表現しようとしている。					
2学期中間～2学期期末考査	現代の国語【人間と時間】時間と自由の関係について（内山 節）	(知) 何を対比させつつ論を進めているかを読み取り、主題を把握する。 (思) 形式段落ごとにキーセンテンスと具体例・説明との峻別をしながら読みとる。 (学) 筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に適切な事例を考え、学習課題に沿って説明しようとしている。					
3学期初め～学年末考査	現代の国語【科学から見た人間】生物の多様性とは何か（福田伸一）	(知) 「ニッチ」「動的平衡」といった専門用語の概念を理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (思) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 (学) 粘り強く筆者が定義する内容を理解し、学習課題に沿って「生物多様性」における自分の考えを説明しようとしている。(主)					
学年末考査後	現代の国語【情報の収集】グラフや写真の読み取り方	(知) グラフや図、写真の特徴や役割、表現の特色を理解し、確認したり比較したりしたことをふまえて、事実を読み取っている。 (思) 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 (学) 進んでテーマに関することを調べて問いを立て、学習の見通しをもって論点を整理し、論証を行ってレポートを書く活動をしようとしている。					
使用教材(教科書・副)	教科書：「現代の国語」（東京書籍）、副教材：「改訂版プレミアムカラー国語便覧」（数件出版）、「大学入試に出た核心漢字2500+語彙1000」（尚文出版）、「グラusstエップ現代文（論理・文学・実用）1.5」（尚文出版）						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 (授業中、先生の質問に対し、自分でしっかり考える。予習や復習で本文を繰り返し読む。文章全体の要旨を捉える。漢字を覚え、語彙を増やす)						
評価方法及び基準	(知) 考査・課題・小テスト等 考査＝7～8割、課題・小テスト等＝2～3割 (思) 考査・小テスト・提出物・課題等 考査＝6～7割、小テスト・提出物・課題等＝3～4割 (学) 考査・小テスト・提出物・課題や授業への取り組み状況等 考査＝4割、小テスト・提出物・課題や授業への取り組み6割						

教科	国語	科目(単位数)	言語文化(3)	学年	1	類型	全クラス
学習目標	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、日本の言語や言語文化への理解を深める。…(知識及び技能) (2) 論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で、また、古典作品から読み取れる先人のもの見方、感じ方、考え方に触れる中で、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を高める。…(思考力、判断力、表現力) (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。…(学びに向かう力、人間性等)						
評価基準	知識・技能	①定期考査の知識・技能：7～8割 ②小テスト・各課題・提出物等：2割～3割					
	思考・判断・表現	①定期考査の思考・判断・表現：7～8割 ②小テスト・課題・提出物：2割～3割					
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査：4割 ②小テスト：3割 ③各課題・提出物：3割					
年度初～1学期中間考査	言語文化・古文編 説話/児のそら寝(宇治拾遺物語)	(知) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (思) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 (学) 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。					
	言語文化・漢文編 訓読の基本	(知) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (思) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 (学) 進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。					
1学期中間～期末考査	言語文化・古文編 随筆/丹波に出雲といふ所あり(徒然草)	(知) 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (思) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 (学) 進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。					
	言語文化・漢文編 故事成語/矛盾(韓非子) 借虎威(戦国策)	(知) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (思) 故事成語の意味の成り立ちを理解し、現在の用法で適切な用例を作ることができる。 (学) 進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。					
	言語文化・現代文編 小説1/羅生門(芥川龍之介)	(知) 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 (思) 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 (学) 進んで自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。					
1学期期末後	言語文化・古文編 随筆/ありがたきもの(枕草子)	(知) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (思) 「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 (学) 進んで自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、作者のもの見方や感じ方、考え方を捉えたり、自分と関係づけて考えたりしようとしている。					
2学期はじめ～中間考査まで	言語文化・漢文編 史話/管鮑之交(十八史略)	(知) 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 (思) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 (学) 進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、史話のおもしろさを味わおうとしている。					
	言語文化・古文編 歌物語/芥川(伊勢物語) 筒井筒(伊勢物語)	(知) 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (思) 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 (学) 進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。					
2学期中間～期末考査	言語文化・漢文編 漢詩(絶句・律詩)	(知) 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 (思) 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 (学) 進んで漢詩の形式ときまりを理解し、学習課題に沿って、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。					
	言語文化・古文編 日記文学/馬のはなむけ(土佐日記)	(知) 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 (思) 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 (学) 進んで本文の表現の特色を理解し、学習課題に沿って、作品に込められた意図を考えようとしている。					
	言語文化・現代文編 小説2/富嶽百景(太宰治)	(知) 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 (思) 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 (学) 進んで本文の内容や構成、展開などを捉え、学習課題に沿って、主人公の心情の変化と、富士山や周囲の人々についての描写に注意して、小説を読み味わおうとしている。					
2学期期末後	言語文化・古文編 和歌/(万葉集・古今和歌集・新古今和歌集)	(知) 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 (思) 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 (主) 進んで和歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、和歌の内容を読み取ろうとしている。					
3学期はじめ～学年末考査まで	言語文化・古文編 軍記物語/木曾の最期(平家物語)	(知) 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (思) 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 (学) 進んで軍記物語特有の表現などについて理解し、学習課題に沿って、登場人物の描かれ方を読み取ろうとしている。					
	言語文化・漢文編 思想/(論語)	(知) 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 (思) 「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 (学) 進んで自分のもの見方、考え方を深め、学習課題に沿って、『論語』を読んで、孔子の学問観・人間観・政治観について考えたり、『論語』の注釈を読んで、自分の考えを伝え合ったりしようとしている。					
3学期学年末考査～年度末	言語文化・古文編 俳諧/漂白の思ひ(奥の細道)	(知) 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (思) 「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 (学) 進んで俳句の翻訳について理解し、学習課題に沿って、多様な解釈に触れるとともに、自らの解釈を深めようとしている。					
使用教材(教科書・副教材)	教科書：「精選言語文化」(東京書籍)。副教材：「読解をたいせつにする体系古典文法九訂版」(数研出版)、「精説漢文改訂版」(いわずな書店)、「改訂版プレミアムカラー国語便覧」(数研出版)、「Key&Point古文単語330四訂版」(いわずな書店)、「新訂版正しく読み・解くための力をつける古典ステップ1」(数研出版)、「読解をたいせつにする体系古典文法準拠ノート四訂版」(数研出版)、「精説漢文定着ノート」(数研出版)						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 (予習で辞書を引き、本文中での言葉の意味を調べ、本文の解釈をする。授業で文法や句法、表現技法、現代語訳の仕方等を理解し、覚え、論理的に本文の内容を読み取る。学んだことを繰り返し確認し、問題演習をしたり、他者に説明したりして理解を深める。)						
評価方法	(知) 考査・小テスト・課題等の内容の確認 (思) 考査・ノートやプリントへの記述内容・課題への取り組み内容の確認 (学) 考査・小テスト・課題や授業への取り組み状況等						

教科	地理歴史 科目(単位数)	地理総合(2)	学年	1	類型	全クラス
学習目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>					
評価基準	知識・技能	①定期考査の知識・技能：7割 ②復習テスト(Forms)、ワークシート等：3割				
	思考・判断・表現	①定期考査の思考・判断・表現：7割 ②復習テスト(Forms)、ワークシート等：3割				
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査：7割 ②提出物(復習テスト、ワークシート、課題提出状況、授業の状況)：3割				
期間	単元(学習内容)	学習の到達目標				
1学期	第1編第1章 私たちが暮らす世界	<p>(知)・世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>(思)・地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>(学)・地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>				
	第1編第2章 地図や地理情報システムの役割	<p>(知)・地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>(思)・さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。</p> <p>・さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現している。</p> <p>・GISを操作し、計測結果や主題図を表示している。</p> <p>(学)・紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。</p>				
2学期	第1編第3章 資料から読み取る現代世界	<p>(知)・交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・交通・通信手段や貿易構造の変化、世界の国家群の特徴などについて、地図や図表の読み取りを通じて理解を深めている。</p> <p>・交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>(思)・交通・情報通信が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・貿易や観光などにみられる国境をこえたモノや人の動きについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>(学)・交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>・グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間の結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>				
	第2編第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境	<p>(知)・世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>(思)・文化の違いがなぜ生じるかということについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・さまざまな産業の特徴や産業立地、それらの変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・地域の文化や人々の暮らし、産業の違いを、それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>(学)・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>・さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>・技術の発展やグローバル化が与えた産業の発展・変容への影響に関心をもち、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>				
	第2編第2章 さまざまな地球の課題と国際協力	<p>(知)・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>(思)・地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>(学)・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>				
3学期	第3編第1章 自然環境と防災	<p>(知)・変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・多発している日本列島の自然災害とその克服について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>(思)・日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>(学)・日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>・深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>				
	第3編第2章 生活圏の調査と地域の展望	<p>(知)・地域調査の手順や注意すべきことを理解している。</p> <p>・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>(思)・身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかになったことを適切に表現している。</p> <p>(学)・身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。</p>				
使用教材 (教科書・副教材)	<p>教科書：『地理総合』（東京書籍）、『詳解現代地図最新版』（二宮書店）</p> <p>副教材：『新課程版サクシード地理2025』（啓隆社）、『新詳地理資料COMPLETE2025』（帝国書院）</p>					
学習方法	<p>授業・復習を中心に行う。自らの課題を把握し、課題解決に向けて学習する態度を持ち授業に臨むこと。分からないところをそのままにせず、積極的に質問すること。定期的に復習テストやレポートを課し、評価する。</p>					
評価方法	<p>(知) ①定期考査の知識・技能：7割 ②復習テスト(Forms)、ワークシート等：3割</p> <p>(思) ①定期考査の思考・判断・表現：7割 ②復習テスト(Forms)、ワークシート等：3割</p> <p>(学) ①定期考査：7割 ②提出物(復習テスト、ワークシート、課題提出状況、授業の状況)：3割</p>					

教科	地理歴史	科目(単位数)	歴史総合・日本史(1)	学年	1	類型	全クラス
学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動をとって、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。						
評価基準	知識・技能	考查7割～8割・平常点2割～3割(提出物等)					
	思考・判断・表現	考查7割～8割・平常点2割～3割(提出物等)					
	主体的に学習に向かう態度	考查7割～8割・平常点2割～3割(提出物等)					
期間	単元(学習内容)	学習の到達目標					
1学期	第1章 近代化への胎動	<p>(知) 18世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係、また両地域における社会・文化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>(思) 18世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係、また両地域における社会・文化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>(学) 18世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係、また両地域における社会・文化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>					
	第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成	<p>(知) 19世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き、またイギリスの産業革命をきっかけとした19世紀の世界経済の変化に関する基本的な知識を、我が国の歴史と関連づけて、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>(思) 19世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き、またイギリスの産業革命をきっかけとした19世紀の世界経済の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて我が国の歴史と関連づけて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>(学) 19世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き、またイギリスの産業革命をきっかけとした19世紀の世界経済の変化に関する問いに対して、我が国の歴史と関連づけて、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>					
	第3章 アジアの変容と日本の近代化	<p>(知) 19世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>(思) 19世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>(学) 19世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>					
2学期	第4章 帝国主義の時代	<p>(知) 帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係、またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>(思) 帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係、またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>(学) 帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係、またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>					
	第5章 第一次世界大戦と大衆社会	<p>(知) 第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化、また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>(思) 第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化、また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>(学) 第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化、また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>					
	第6章 経済危機と第二次世界大戦	<p>(知) 世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的变化、また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>(思) 世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的变化、また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>(学) 世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的变化、また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>					
3学期	第7章 冷戦と脱植民地化	<p>(知) 冷戦下の世界における国際関係の変化、またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>(思) 冷戦下の世界における国際関係の変化、またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>(学) 冷戦下の世界における国際関係の変化、またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>					
	第8章 多極化する世界	<p>(知) 石油危機をきっかけとした世界経済の変化、また1970年代以降の世界の多極化の動きに関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>(思) 石油危機をきっかけとした世界経済の変化、また1970年代以降の世界の多極化の動きに関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>(学) 石油危機をきっかけとした世界経済の変化、また1970年代以降の世界の多極化の動きに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>					
	第9章 グローバル化と現代世界	<p>(知) 冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化、また現在、世界が直面している課題に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。</p> <p>(思) 冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化、また現在、世界が直面している課題に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。</p> <p>(学) 冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化、また現在、世界が直面している課題に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。</p>					
使用教材(教科書・副教材)	教科書：『詳述歴史総合』(実教出版) 副教材：『詳述歴史総合 徹底整理演習ノート』(実教出版) 『新詳 歴史総合』(浜島書店)						
学習方法	1単位(週1回)の授業ですが、考查、行事や担当者出張等を考慮すると実際の授業は月に2～3回程度にとどまると考えられます(進度予定が大幅に変更される可能性もあります)。それだけに、 予習・授業・復習のサイクルを確実に実行してください。授業は、予習が終わっていることを前提として行われます。 予習時は教科書の熟読や『マイノート』の記入、時には動画視聴などに取り組んでいただきます。そして授業や復習の段階で、歴史を概観しつつその流れの中に重要単語(歴史用語)を位置づけられるような意識を持つとよいでしょう。						
評価方法	<p>(知) 考查7割～8割・平常点2割～3割(提出物等)</p> <p>(思) 考查7割～8割・平常点3割～2割(提出物等)</p> <p>(学) 考查7割～8割・平常点3割～2割(提出物等)</p> <p>ただし、「歴史総合」の成績は「歴史総合・日本史」と「歴史総合・世界史」の評価と合わせる形で算出されます。</p>						

令和7年度（2025年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	地理歴史	科目(単位数)	歴史総合・世界史(1)	学年	1	類型	全クラス
学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
評価基準	知識・技能	考查7割～8割・平常点2割～3割(提出物等)					
	思考・判断・表現	考查7割～8割・平常点2割～3割(提出物等)					
	主体的に学習に向かう態度	考查7割～8割・平常点2割～3割(提出物等)					
期間	単元(学習内容)	学習の到達目標					
1学期	第1章 近代化への胎動	(知) 18世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係、また両地域における社会・文化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 (思) 18世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係、また両地域における社会・文化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 (学) 18世紀ごろのアジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係、また両地域における社会・文化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。					
	第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成	(知) 19世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き、またイギリスの産業革命をきっかけとした19世紀の世界経済の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 (思) 19世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き、またイギリスの産業革命をきっかけとした19世紀の世界経済の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 (学) 19世紀の欧米諸国における国民国家形成に向けた動き、またイギリスの産業革命をきっかけとした19世紀の世界経済の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。					
	第3章 アジアの変容と日本の近代化	(知) 19世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 (思) 19世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 (学) 19世紀のアジアや日本に進出した欧米諸国とそれに対するアジア諸国と日本の対応に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。					
2学期	第4章 帝国主義の時代	(知) 帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係、またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 (思) 帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係、またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 (学) 帝国主義の時代における欧米諸国とアジア・アフリカとの関係、またアジア・日本での国民国家形成の動きに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。					
	第5章 第一次世界大戦と大衆社会	(知) 第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化、また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 (思) 第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化、また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 (学) 第一次世界大戦をきっかけとした国際関係の変化、また第一次世界大戦後の世界各国の社会の形成に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。					
	第6章 経済危機と第二次世界大戦	(知) 世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的变化、また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 (思) 世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的变化、また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 (学) 世界恐慌をきっかけとした世界各国の政治的变化、また第二次世界大戦をきっかけとした国際社会の変化に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。					
3学期	第7章 冷戦と脱植民地化	(知) 冷戦下の世界における国際関係の変化、またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 (思) 冷戦下の世界における国際関係の変化、またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 (学) 冷戦下の世界における国際関係の変化、またアジア・アフリカ諸国や日本の動きに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。					
	第8章 多極化する世界	(知) 石油危機をきっかけとした世界経済の変化、また1970年代以降の世界の多極化の動きに関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 (思) 石油危機をきっかけとした世界経済の変化、また1970年代以降の世界の多極化の動きに関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 (学) 石油危機をきっかけとした世界経済の変化、また1970年代以降の世界の多極化の動きに関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。					
	第9章 グローバル化と現代世界	(知) 知識・技能 冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化、また現在、世界が直面している課題に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 (思) 冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化、また現在、世界が直面している課題に関する問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現できている。 (学) 冷戦終結後の地域・民族紛争やグローバル化による政治・経済の変化、また現在、世界が直面している課題に関する問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り、学習改善しようとしている。					
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：『詳述歴史総合』（実教出版） 副教材：『詳述歴史総合 徹底整理演習ノート』（実教出版） 『新詳 歴史総合』（浜島書店）						
学習方法	1単位(週1回)の授業ですが、考查、行事や担当者の出張等を考慮すると実際の授業は月に2～3回程度にとどまると思われます。(進捗予定が大幅に変更される可能性もあります)。それだけに、 予習・授業・復習のサイクルを確実に実行 してください。 授業は、予習が終わっていることを前提として行われます。 予習時は教科書の熟読や『徹底整理演習ノート』の記入、時には動画視聴などに取り組んでいただきます。そして授業や復習の段階で、歴史を概観しつつその流れの中に重要単語(歴史用語)を位置づけられるような意識を持つとよいでしょう。						
評価方法	「歴史総合」の成績は「歴総合・日本史」と「歴史総合・世界史」の評価を合わせる形で算出されます。 (知) 考查7割～8割・平常点2割～3割(提出物等) (思) 考查7割～8割・平常点3割～2割(提出物等) (学) 考查7割～8割・平常点3割～2割(提出物等)						

教科	公民	科目（単位数）	公共（2）	学年	1	類型	全クラス
学習目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。						
評価基準	知識・技能	①定期考査の知識・技能：7割 ②提出物（ワークシート、プリント、整理ノート）：3割					
	思考・判断・表現	①定期考査の思考・判断・表現：7割 ②提出物（ワークシート、プリント、整理ノート）：3割					
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査：5割 ②提出物（ワークシート、プリント、整理ノート）：5割					
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標					
～1学期	第1章 公共的な空間をつくる私たち 第1節 青年期と自己形成	【知】青年期の意義と課題を心理学者の思想に着目しながら理解している。					
		【思】青年期の意義と課題について、心理学者の思想と現在の自分を関連付けながら自分事として考察し表現することができる。					
		【態】青年期の意義と課題を心理学者の思想に着目しながら考察しようとしている。					
	第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2節 人間としての自覚	【知】東洋と西洋の先哲の思想や世界三大宗教の特徴を理解している。					
		【思】東洋と西洋の先哲の思想や世界三大宗教の特徴を通して、よく生きるとはどのようなことか自分なりに考察し表現することができる。					
		【態】東洋と西洋の先哲の思想を通して、よく生きるとはどのようなことか考察しようとしている。					
	第1章 公共的な空間をつくる私たち 第3節 日本人としての自覚	【知】日本の先哲の思想家の思想を通して、日本思想の特徴を理解することができる。					
		【思】学習した日本の先哲の思想家の思想を活用して、日本思想の特徴を説明することができる。					
		【態】日本の先哲の思想家の思想を通して、日本人としての自覚を高めようとしている。					
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第1節 西洋近現代の思想	【知】西洋の先哲の思想家の思想を通して、西洋近現代の思想の特徴を理解することができる。					
		【思】西洋の先哲の思想家の思想を活用して、西洋近現代の思想の特徴を説明し、1人の人間としていかに生きるべきか自分なりに考察し表現することができる。					
		【態】西洋の先哲の思想家の思想を通して、人間の尊厳と幸福について考察しようとしている。					
～2学期 中間考査	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第2節 現代の諸課題と倫理	【知】地球環境・情報化の進展・生命倫理の観点から、現代の諸課題を理解することができる。					
		【思】地球環境・情報化の進展・生命倫理の観点から、現代の諸課題を分析し、自分なりの解決策を考察し表現することができる。					
		【態】地球環境・情報化の進展・生命倫理の観点から、現代の諸課題を分析し、自分なりの解決策を考察しようとしている。					
	第3章 公共的な空間における基本原理 第1節 民主社会の基本原理	【知】民主政治の基本原則とは何かを理解することができる。					
【思】学習した民主政治の基本原則を活用して、民主政治とはどのような政治か考察し、表現することができる。							
～2学期 期末考査	第3章 公共的な空間における基本原理 第2節 日本社会の基本原理	【知】日本国憲法の基本原則と保障されている基本的人権について理解することができる。					
		【思】判例を通して日本国憲法の基本原則や基本的人権の特徴について考察し、表現することができる。					
		【態】日本国憲法の学習を通して、基本原則や基本的人権の規定を尊重し擁護しようとしている。					
	第4章 現代の民主政治と政治参加の意義 第1節 日本の政治機構	【知】日本の政治機構の特徴について国会・内閣・裁判所に着目し、理解することができる。					
		【思】日本の政治機構の特徴について、国会・内閣・裁判所に着目し、考察することができる。					
		【態】学習した日本の政治機構の特徴を活用して、ニュースや新聞などの実社会の社会的現象を分析しようとしている。					
	第4章 現代の民主政治と政治参加の意義 第2節 政治参加と民主政治の課題	【知】日本の選挙制度・政治的知識や地方自治の現状の課題について理解することができる。					
		【思】日本の選挙制度や地方自治の現状や課題を考察し、表現することができる。					
		【態】選挙や地方自治について関心を高め、将来の主権者として積極的に社会参画しようとしている。					
	第6章 国際社会の動向と日本の役割 第1節 国際政治の動向	【知】国際法や国際連合の意義と課題、第二次世界大戦以降の国際情勢を理解することができる。					
		【思】学習した知識を活用し、国際社会の諸課題の背景にある原因について考察し、表現しようとしている。					
		【態】SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて自分のできることを実践するなど、国際社会の問題に関して当事者意識を持って取り組もうとしている。					
	第6章 国際社会の動向と日本の役割 第2節 国際政治の課題と日本の役割	【知】日本の防衛政策と安全保障体制を理解することができる。					
		【思】防衛政策と安全保障体制の観点から、国際社会において日本の果たすべき役割について考察し、表現することができる。					
		【態】防衛政策と安全保障体制の観点から、国際社会において日本の果たすべき役割について実社会の社会的現象と関連付けながら考察しようとしている。					
	第6章 国際社会の動向と日本の役割 第3節 国際経済の動向と国際協力	【知】貿易理論や外国為替・国際収支の仕組み、戦後の国際経済・貿易体制、地域経済統合などを通して、国際経済のしくみを理解することができる。					
		【思】学習した国際経済の仕組みを活用して、現代の国際経済の諸課題の背景にある原因とその改善策を考察し、表現することができる。					
		【態】学習した国際経済の仕組みを活用して、現代の国際経済の諸課題の背景にある原因とその改善策を考察しようとしている。					
～3学期 学年末考査	第3章 公共的な空間における基本原理 第2節 日本社会の基本原理	【知】日本国憲法の基本原則とは何かを理解することができる。					
		【思】学習した日本国憲法の基本原則を活用して、各人の意見や利害の対立を公平・公正に調整するための原理を考察し表現することができる。					
		【態】公共的な空間を作る上で、日本国憲法の基本原則が必要であることと、公共的な空間における課題を基本原則を用いて考察しようとしている。					
	第4章 現代の民主政治と政治参加の意義 第1節 日本の政治機構	【知】日本の統治機構の特徴とは何かを理解することができる。					
【思】行政機能拡大の是非について主体的に考察できる。							
【態】模擬裁判などを通して、司法に関心をもち、裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を高めようとしている。							
～3学期 学年末考査	第4章 現代の民主政治と政治参加の意義 第2節 政治参加と民主政治の課題	【知】選挙の仕組みや政党の役割、地方自治の現状と課題が理解できている。					
		【思】選挙制度や政党政治で学習してことを活用して、日本の政治について課題を発見し、解決策を考察し、表現することができる。					
		【態】模擬投票や政党マッチングなどの実施により、政党や選挙を身近に捉えようとしている。					
～3学期 学年末考査	第6章 国際社会の動向と日本の役割 第1節 国際政治の動向	【知】国際法の意義や国際連合などの国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。					
		【思】国際連合の現状と課題について考察することで、国際社会で平和と安全を維持するため何が有効なのか、自らの考えを考察し表現することができる。					
		【態】国際社会で平和と安全を維持するために、国際連合などの国際紛争解決機関の効果的な在り方を考察しようとしている。					
～年度末	第6章 国際社会の動向と日本の役割 第2節 国際政治の課題と日本の役割	【知】国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。					
		【思】現代の世界の紛争や人権問題について自分なりの意見を考察し、他者に表現することができる。					
		【態】国際社会の中で日本がどのような国際貢献を行うべきか、自分なりの考えを考察しようとしている。					
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「公共」（数研出版）、副教材：「最新図説公共」（浜島書店）、「公共整理ノート」（数研出版）						
学習方法	教科書準拠ノートを通した予習（基礎的知識の確認）・授業・復習のサイクル。（教科書や問題集の基本問題を自分で解けるようになるまで取り組む。）						
評価方法	（知）定期考査・小テスト （思）定期考査・ワークシート・課題レポート （態）定期考査・課題や授業への取り組み状況等（考査・ワークシート・課題への取り組み状況・対話学習への取り組み状況）						

令和7年度（2025年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	数学	科目(単位数)	数学Ⅰ(3)、数学A(1)、数学Ⅱ(1)	学年	1	類型	全クラス
学習目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、次のような数学的に考える資質・能力を身に付ける。 (1) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力 (3) 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力 (4) 社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力 (5) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度 (6) 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度						
評価基準	知識・技能	① 知識・技能 ② 小テスト・課題・授業等への取り組み状況 2割～3割					
	思考・判断・表現	③ 思考・判断・表現 ④ 小テスト・課題・授業等への取り組み状況 2割～3割					
	主体的に学習に向かう態度	⑤ 主体的に学習に向かう態度 ⑥ 小テスト・課題・授業等への取り組み状況 2割～3割					
期間	数学Ⅰ 単元(学習内容)	学習の到達目標	数学A・Ⅱ 単元(学習内容)	学習の到達目標			
年度初～ 1学期 中間考査	数Ⅰ 第3章 2次関数	(知) 二次関数の値の変化やグラフの特徴を理解し、2次関数のグラフをかくことができる。 (思) 二次関数の式とグラフとの関係について、グラフをかくなどして多面的に考察する。 (学) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。	数Ⅰ 第1章 数と式	(知) 数を実数まで拡張する意義、不等式の解の意味や不等式の性質について理解する。 (思) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察する。 (学) 数学の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとする。			
1学期中間～ 期末考査							
1学期期末～ 2学期 中間考査	数Ⅰ 第2章 集合と命題	(知) 集合と命題に関する基本的な概念について理解する。 (思) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明できる。 (学) 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする。	数Ⅰ 第5章 データの分析	(知) 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用方を理解する。 (思) 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な分析を行い、事象の特徴を表現する。 (学) 数学の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとする。			
	数A 第2章 図形の性質	(知) 三角形や円に関する基本的な性質について理解する。 (思) 図形の構成要素の関係などに着目し、新たな図形の性質を見だし考察することができる。 (学) 図形の位置関係について、多面的に考察する。	数A 第1章 場合の数と確率	(知) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。 (思) 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりする。 (学) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。			
2学期中間～ 期末考査	数Ⅰ 第4章 図形と計量	(知) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解する。三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 (思) 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象を捉え、数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。 (学) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。					
2学期期末～ 3学期 学年末考査	数Ⅱ 第2章 複素数と方程式	(知) 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。 (思) 剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 (学) 1の3乗根の性質や高次方程式に興味・関心を持ち、具体的な問題に取り組もうとする。	数Ⅱ 第1章 いろいろな式	(知) 整数の除法や分数の計算と関連付けて、多項式の除法や分数式の計算を行うことができる。 (思) 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、論理的に、証明することができる。 (学) 粘り強く等式や不等式が成り立つことを証明することができる。			
使用教材 (教科書・副 教材)	① 教科書 : 「高等学校数学Ⅰ・Ⅱ・A」(数研出版) ② 教科書理解補助参考書: 「数学Ⅰ・A および Ⅱ・B 入門問題精講」(旺文社) ③ 反復練習用問題集 : 「4プロセス 数学Ⅰ+A および Ⅱ+B」(数研出版) ④ 網羅系参考書・問題集: 「NEW ACTION LEGEND 数学Ⅰ+A および Ⅱ+B」(東京書籍) ※②③④についてはGW明けに配付予定。						
学習方法	(1) 教科書を読み、定義を理解するために具体例に触れる。そのときに、書いて数式や記号に慣れる。最初は、写して手で慣れることも大切。 ①②を活用 (2) 定理や公式の証明を理解し、何も見ずに証明を再現できるようになる。最初は、写してもよい。 ※(2)は後回しにしてもよい。 ①②を活用 (3) 定理や公式の使い方を身に付けるために、問題を解く。速く正確に解けるように反復練習をする。 ※問題を解くために、定理や公式を覚えるわけではない。③を活用 (4) 定理や公式を活用することで解決できる応用問題を解く。解法を理解したうえで、解法のポイントとなる箇所を覚えていく。 ①④を活用 (5) 定理や公式など複数のことを使い、試行錯誤をしないと解けないような発展問題に取り組み、総合的な数学の力や、思考力を培う。④を活用 (6) 教師・友人への質問や対話を通じて理解が深まってきます。1人で考えることも大切ですが、積極的にコミュニケーションをとりましょう。						
評価方法	(知) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ (思) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ (学) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿						

教科	理科	科目（単位数）	化学基礎（2）	学年	1	類型	全クラス
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究する力と態度を身に付ける。						
評価基準	知識・技能	①定期考査の知識・技能：6割 ②小テスト：2割 ③各課題：2割					
	思考・判断・表現	①定期考査の思考・判断・表現：6割 ②小テスト・ワークシート：2割 ③各課題：2割					
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査：4割 ②小テスト・ワークシート：3割 ③各課題：3割					
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標					
1 学期	1編1章 化学とは何か	【知】	化学と物質についての実験などを通して、化学の特徴について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。				
		【思】	化学の特徴について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。				
		【態】	化学の特徴に関する事象・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				
	1編2章 物質の成分と構成元素	【知】	化学と物質についての実験などを通して、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。				
		【思】	物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。				
		【態】	化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事象・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				
2編1章 原子の構造と元素の周期表	【知】	物質の構成粒子についての実験などを通して、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。					
	【思】	原子の構造、電子配置と周期表について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。					
	【態】	原子の構造、電子配置と周期表に関する事象・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。					
2 学期	2編2章 化学結合	【知】	物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。				
		【思】	イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。				
		【態】	イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事象・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				
	3編1章 物質と化学反応式	【知】	物質と化学反応式についての実験などを通して、物質、化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。				
		【思】	物質、化学反応式について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。				
		【態】	物質、化学反応式について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				
3編2章 酸と塩基	【知】	化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。					
	【思】	酸・塩基と中和について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。					
	【態】	酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。					
3 学期	3編3章 酸化還元反応	【知】	化学反応についての実験などを通して、酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。				
		【思】	酸化と還元について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。				
		【態】	酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				
使用教材 (教科書・ 副教材)	教科書：「化学基礎」（東京書籍）、副教材：「化学基礎研究ノート（博洋社）」						
学習方法	授業・復習のサイクル（教科書や問題集の基本問題を自分で解けるようになるまで取り組む。）						
評価方法	(知) 定期考査・確認テスト・章末テスト (思) 定期考査・実験プリント（レポート） (態) 確認テスト・課題や授業への取り組み状況等						

教科	体育	科目（単位数）	体育（2）	学年	1	類型	全クラス
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力の育成を目指す。						
評価内容	知識・技能	①定期考査（知識）②実技テスト（技能）					
	思考・判断・表現	①学習シート ②授業観察					
	主体的に学習に向かう態度	①授業観察 ②学習シート					

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
1 学期	体づくり運動 （ラジオ体操、青年体操）	【知】 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解する。 【思】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【態】 体づくりの運動の学習に自主的に取り組もうとすること。
	ダンス	【知】 いろいろな動きと関連させた柔軟運動やリズムカルな全身運動をすることで、結果として体力を高めることができることを理解する。 【技】 リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ることができる。 【思】 作品創作や発表会に向けた仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け仲間に伝えること。 【態】 ダンスの学習に自主的に取り組もうとすること。
	水泳（クロール）	【知】 水泳の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることを理解する。 【技】 水面上の腕は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすことができる。 【技】 安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。 【思】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を話したり、書き出したりすることができる。 【態】 水泳の学習に自主的に取り組もうとすること。
	球技	【知】 球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを理解する。 【技】 ゴール型・・・安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できる。 【技】 ネット型・・・仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組立てて、攻防を展開できる。 【技】 ベースボール型・・・易しい投球に対する安定した打撃により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防を展開できる。 【思】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を話したり、書き出したりすることができる。 【態】 球技の学習に自主的に取り組もうとすること。
	体育理論	【知】 スポーツの歴史的発展と多様な変化について理解する。
2 学期	ダンス	【知】 いろいろな動きと関連させた柔軟運動やリズムカルな全身運動をすることで、結果として体力を高めることができることを理解する。 【技】 リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ることができる。 【思】 作品創作や発表会に向けた仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えることができる。 【態】 ダンスの学習に自主的に取り組もうとすること。
	球技	【知】 球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを理解する。 【技】 ゴール型・・・安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できる。 【技】 ネット型・・・仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組立てて、攻防を展開できる。 【技】 ベースボール型・・・易しい投球に対する安定した打撃により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防を展開できる。 【思】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を話したり、書き出したりすること。 【態】 球技の学習に自主的に取り組もうとすること。
	陸上競技 （長距離走）	【知】 陸上競技の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることを理解する。 【技】 自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競争したりできる。 【思】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【態】 陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。
	体育理論	【知】 現代スポーツの意義や価値、スポーツの経済的効果と高潔さを理解する。
3 学期	球技	【知】 球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを理解する。 【技】 ゴール型・・・安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できる。 【技】 ネット型・・・仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組立てて、攻防を展開できる。 【技】 ベースボール型・・・易しい投球に対する安定した打撃により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防を展開できる。 【思】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を話したり、書き出したりすること。 【態】 球技の学習に自主的に取り組もうとすること。
	体育理論	【知】 スポーツが環境や社会にもたらす影響を理解する。
使用教材 （教科書、副教材）	教科書：現代保健体育（大修館） 副教材：現代保健体育ノート（大修館）、アクティブスポーツ総合版（大修館）	
学習方法	運動やスポーツを楽しみながら、単元の目標に対する個人の課題やチームの課題を明確にし、その解決方法について話し合ったり練習計画を作成するなどして、仲間との実践の中で協力し活動していく。	
評価方法	○知識・技能・・・定期考査及び実技テストにより評価を行う。 ○思考・判断・表現・・・論述やレポートの作成、発表等。 ○主体的に学習に取り組む態度・・・行動観察やレポート等。	

教科	体育	科目（単位数）	保健（1）	学年	1	類型	全クラス
学習目標	保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力の育成を目指す。						
評価内容	知識・技能	①定期考査の知識や実習による技能：7割 ②保健ノート等の提出物：3割					
	思考・判断・表現	①保健ノート 思考・判断・表現：5割 ②課題研究レポート、発表 思考・判断・表現：5割					
	主体的に学習に向かう態度	①観察：5割 ②保健ノート等の提出物：5割					

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
1 学期	国民の健康課題	<p>【知】国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解できるようにする。</p> <p>【思】現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見し、それを話したり、書き出すことができるようにする。</p>
	健康の考え方と成り立ち	<p>【知】健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて理解できるようにする。</p> <p>【思】国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理し、言ったり書き出したりできるようにする。</p>
	健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくり	<p>【知】健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることを理解できるようにする。</p> <p>【思】国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理し、言ったり書き出したりできるようにする。</p>
	現代の感染症とその予防	<p>【知】感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。</p> <p>【思】感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に活用していることを言ったり、書き出したりできるようにする。</p>
2 学期・3 学期	生活習慣病などの予防と回復	<p>【知】がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解できるようにする。</p> <p>【思】生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理することを言ったり、書き出したりできるようにする。</p>
	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	<p>【知】喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解している。また、これらの健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>【思】喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止柵を評価できるようにする。</p>
	精神疾患の予防と回復	<p>【知】精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることを理解できるようにする。</p> <p>【思】精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理できるようにする。</p>
	安全な社会づくり	<p>【知】事故の現状と発生要因について理解し、安全な社会の形成には法的な整備や環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取り組み、及び地域の連携が必要なことを理解できるようにする。交通事故防止のためには個人の適切な行動や、様々な環境整備が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>【思】精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理できるようにする。</p>
	応急手当	<p>【知】応急手当の意義や日常的な応急手当の方法を理解し、応急手当ができるようにする。心肺蘇生法の必要性や方法を理解できるようにし、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができるようにする。</p> <p>【思】精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理できるようにする。</p>
使用教材（教科書・副教材）	教科書：現代保健体育（大修館），副教材：現代保健体育ノート（大修館）	
学習方法	教科書を中心に健康・安全に関わる基本的なことを体系的に学び、科学的根拠をもとに健康課題に対処できる思考・判断・表現力をグループ活動等を通じて身に付けていく。	
評価方法	定期考査、レポート、保健ノート、グループ活動における観察等	

令和7年度（2025年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス							
教科	芸術	科目（単位数）	音楽Ⅰ（2）	学年	1	類型	全クラス
学習目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを旨とする。						
評価基準	知識・技能	実技テスト					
	思考・判断・表現	実技テスト					
	主体的に学習に向かう態度	活動の様子、提出物、出席状況など					
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標					
年度初～1学期中間 1学期中間～期末 ～2学期中間	【歌唱】歌声づくり 【歌唱】歌唱の楽しみ 【歌唱】ドイツ歌曲の楽しみ	(知)・姿勢や呼吸法、発声法に気をつけて楽曲を歌う。 (思)・合唱活動に関心を持ち、歌詞の内容や曲想を生かして声部の役割を意識して歌う。 (学)・歌詞の内容や込められたメッセージを考えながら歌うことに主体的に取り組む。					
	【鑑賞】鑑賞の楽しみ	(知)・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解する。 (思)・音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 (学)・楽曲に関心を持ち、主体的に学習活動に取り組む。					
2学期中間～期末	【器楽】ギター演奏の楽しみ① 基本的な奏法の習得	(知)・ギターの音色や奏法の特徴を生かして演奏する。 (思)・ギターの美しい音色や様々な奏法を鑑賞する。 (学)・ギターの奏法を身に付けることに関心を持ち、学習活動に取り組む。					
	【歌唱】ギター演奏の楽しみ② ギター弾き語り	(知)・創意工夫を生かし、曲にふさわしい奏法や身体の見方を身に付けている。 (思)・曲にふさわしい表現について思考し、表現意図が伝わる演奏をしている。 (学)・曲想や奏法との関わりについて関心を持ち、主体的に活動に取り組んでいる。					
2学期期末～3学期学 年末 3学期 学年末 ～年度末	【歌唱・鑑賞】 ミュージカルの楽しみ	(知)・曲にふさわしい歌唱表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱で表している。 (思)・曲の特徴をとらえ、どのように歌唱表現するかを考え、表現意図が伝わる演奏をしている。 (学)・音楽の特徴をとらえ、主体的に鑑賞の活動に取り組んでいる。					
	【歌唱】合唱の楽しみ	(知)・全体の響きに調和させて歌う。 (思)・合唱活動に関心を持ち、歌詞の内容や曲想を生かして声部の役割を意識して歌う。 (学)・歌詞の内容や込められたメッセージを考えながら歌うことに主体的に取り組む。					
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「音楽ⅠTutti+」（教育出版）						
学習方法	個人またはグループワーク						
評価方法	学期末成績＝授業内テスト（70％）＋平常点（30％） 授業内テスト：歌唱テスト・器楽テスト 平常点：授業参加度、学習プリント、課題提出						

教科	芸術	科目（単位数）	美術Ⅰ（2）	学年	1	類型	全クラス
評価基準	知識・技能	①ワークシート（知識）：約3割 ②作品（技能）：約7割					
	思考・判断・表現	①ワークシート（鑑賞）：約4割 ②ワークシート（表現の工夫）：約6割					
	主体的に学習に向かう態度	①ワークシート（毎回の記録）：約5割 ②活動の様子、提出状況など：約5割					
学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成すること。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標					
年度初～ 1学期 中間考査	・オリエンテーション ・教科書の作品鑑賞 ・身近なもの、自分の手をデッサンする	(知) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める (思) 価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる (学) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む					
1学期中間～ 期末考査	・動物をデッサンする ・写真集を見て行う	(知) 鉛筆の使い方を身に付けている 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める (思) 創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする (学) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む					
1学期期末 ～2学期 中間考査	・静物の油絵を描こう ・下絵を描こう ・彩色する	(知) 基本的な油絵の描き方を学ぶ力を身に付けている 自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成する (思) 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る (学) 初めての油絵に意欲をもち、先輩の作品を参考にして主体的に取り組んでいる					
2学期中間～ 期末考査	・油絵の制作 ・背景の処理	(知) 油絵を描く手順をしっかりと理解する 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める (思) 意図に応じて材料や用具の特性を生かす (学) 文化祭や地域の展示会に作品を展示する意欲をもっている					
2学期期末 ～3学期 学年末考査	・美術作品の鑑賞	(知) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める (思) 油絵の美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める (学) アート作品を作る創造力を身に付けている					
3学期 学年末考査 ～年度末	・工芸作品の絵付け ・ペーパーテスト	(知) カップのデザインを考え、技法を学ぶ。創造力・表現力・鑑賞力を身に付ける (思) 創造的な美しさや楽しさを考える (学) 美術文化を親しみ心豊かな心情を養う					
使用教材 (教科書・ 副教材)	美術Ⅰ（光村）						
学習方法	個人またはグループワーク						
評価方法	作品提出、レポート、作業の進行、授業態度、技法、興味						

令和7年度（2025年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス							
教科	芸術	科目（単位数）	書道Ⅰ（2）	学年	1	類型	全クラス
学習目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。						
評価基準	知識・技能	①ワークシート（知識）：約3割 ②作品（技能）：約7割					
	思考・判断・表現	①ワークシート（鑑賞）：約4割 ②ワークシート（表現の工夫）：約6割					
	主体的に学習に向かう態度	①ワークシート（毎回の記録）：約5割 ②活動の様子、提出状況など：約5割					
1学期	オリエンテーション 書写から書道へ 用具用材の使用法 基本姿勢について	(学) 自らの感性を高め、書の伝統と文化に親しもうとしている。					
	漢字の書 漢字の変遷 楷書古典の鑑賞	(知) (知識) 日本及び中国などの文字と書の伝統と文化、書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。					
		(思) 漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。					
		(学) 主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。					
	九成宮醜泉銘(初唐の三大家)	(知) (技能) 古典に基づく基本的な用筆・運筆、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。					
		(思) 知識や技能を得たり生かしたりしながら、古典の書体や書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成を構想し工夫し、相手に伝えることができる。					
		(学) 主体的に漢字の書の幅広い学習活動に取り組もうとしている。					
	顔氏家廟碑	(知) (知識) 書体や書風と用筆・運筆との関わり、線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化について理解する。					
		(知) (技能) 古典に基づく基本的な用筆・運筆、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。					
		(思) 知識や技能を得たり生かしたりしながら、古典の書体や書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成を構想し工夫し、相手に伝えることができる。					
	牛欄造像記	(知) (知識) 書体や書風と用筆・運筆との関わり、線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化について理解する。					
		(知) (技能) 古典に基づく基本的な用筆・運筆、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。					
(思) 知識や技能を得たり生かしたりしながら、古典の書体や書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成を構想し工夫し、相手に伝えることができる。							
2学期	漢字仮名交じりの書の鑑賞	(知) (知識) 線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の成立について理解する。					
		(思) 創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えることができる。					
		(学) 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い学習活動に取り組もうとしている。					
	文化祭の作品制作 写真と書	(知) (知識) 書体や書風と用筆・運筆との関わり、線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化について理解する。					
		(知) (技能) 古典に基づく基本的な用筆・運筆、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。					
		(思) 知識や技能を得たり生かしたりしながら、古典の書体や書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成を構想し工夫し、相手に伝えることができる。					
	漢字の書 行書古典の臨書 蘭亭序	(知) (知識) 書体や書風と用筆・運筆との関わり、線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化について理解する。					
		(知) (技能) 古典に基づく基本的な用筆・運筆、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。					
		(思) 知識や技能を得たり生かしたりしながら、古典の書体や書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成を構想し工夫し、相手に伝えることができる。					
	漢字の書 行書古典の臨書 風信帖	(知) (知識) 書体や書風と用筆・運筆との関わり、線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化について理解する。					
		(知) (技能) 古典に基づく基本的な用筆・運筆、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。					
		(思) 知識や技能を得たり生かしたりしながら、古典の書体や書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成を構想し工夫し、相手に伝えることができる。					
漢字の書 行書古典の臨書 風信帖	(知) (知識) 書体や書風と用筆・運筆との関わり、線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化について理解する。						
	(知) (技能) 古典に基づく基本的な用筆・運筆、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。						
	(思) 知識や技能を得たり生かしたりしながら、古典の書体や書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成を構想し工夫し、相手に伝えることができる。						
漢字の書 行書古典の臨書 風信帖	(知) (知識) 書体や書風と用筆・運筆との関わり、線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化について理解する。						
	(知) (技能) 古典に基づく基本的な用筆・運筆、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。						
	(思) 知識や技能を得たり生かしたりしながら、古典の書体や書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成を構想し工夫し、相手に伝えることができる。						
3学期	仮名の書の鑑賞 仮名の成立 仮名の鑑賞	(知) (知識) 日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解する。					
		(思) 仮名の古筆の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。					
		(学) 主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。					
	仮名の書の臨書 ①いろは（単体・変体仮名） ②高野切	(知) (知識) 線質や書風と用筆・運筆との関わり、線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、日本の書の伝統と文化について理解する。					
		(知) (技能) 古筆に基づく基本的な用筆・運筆、線質を生かした表現をするための技能を身に付ける。					
		(思) 知識や技能を得たり生かしたりしながら、古筆や書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成を構想し工夫し、相手に伝えることができる。					
仮名の書 仮名の書の創作	(知) (知識) 線質や書風と用筆・運筆との関わり、線質、字形、構成などの要素と表現効果や風趣との関わり、日本の書の伝統と文化について理解する。						
	(知) (技能) 古筆に基づく基本的な用筆・運筆、連綿と単体、線質や字形を生かした表現をするための技能を身に付ける。						
	(思) 知識や技能を得たり生かしたりしながら、古筆や書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成を構想し工夫し、相手に伝えることができる。						
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「書Ⅰ」（光村図書）、chromebook						
	学習方法	授業、グループワーク、実技					
評価方法	(知) 作品、ワークシートなど (思) ワークシート（鑑賞）、ワークシート（表現の工夫）など (態) ワークシート（毎回の記録）、活動の様子、提出状況など						

教科	英語	科目（単位数）	英語コミュニケーションⅠ（3）	学年	1	類型	全クラス
学習目標	外国語の習得を通して生徒の人的成長を手助けし、自他の言語や文化に対する関心を高める。 基礎・基本事項を大切に、確かな読解力・表現力を身につける。						
評価基準	知識・技能	①定期考査の知識・技能：6割 ②小テスト：1割 ③各課題・提出物：2割 ④パフォーマンステスト：1割					
	思考・判断・表現	①定期考査の思考・判断・表現：6割 ②小テスト：1割 ③各課題・提出物：2割 ④パフォーマンステスト：1割					
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査：4割 ②小テスト：2割 ③各課題・提出物：3割 ④パフォーマンステスト：1割					
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標					
1学期	Lesson 1 Communication with People Around the World	【知】主部と述部、SV、SVC、SVO、現在形、過去形、未来形の意味や基本構造について理解できる。 【思】よいコミュニケーションのために何が必要かについて書かれた英文を理解し、意見を交換したり説明したりすることができる。 【学】よいコミュニケーションのために何が必要かについて、ペアで伝え合うことができる。					
	Lesson 2 Pets and Humans : Together Through Time	【知】名詞句、to不定詞（名詞的用法）、動名詞の意味や基本構造について理解できる。 【思】長い歴史における人間とペットの関係について書かれた英文を理解し、ペットや動物について意見を交換する。 【学】人間とペットの関係について書かれた英文を読み、簡単な語句を使って説明しようとする。					
	Lesson 3 Musubi-Ties and Knots	【知】SV00、SV0C、進行形の意味や構造について理解できる。 【思】古来、日本人が結びに込めたさまざまな願いについて理解し、意見を交換したり、意味を説明したりすることができる。 【学】古来、日本人はどのようなものにしたさまざまな願いを込めたのかについて書いて伝えようとする。					
	Lesson 4 The Power of Mushrooms	【知】現在完了形、過去完了形、SVOの意味や基本構造について理解できる。 【思】自然界においてキノコが果たす役割について書かれた英文を理解し、日本の森やキノコなどについて意見を交換することができる。 【学】自然界の万物が果たす役割について考え、自分の意見をを書いて伝えようとする。					
2学期	Lesson 5 Braille Neue : Connecting Dots with Lines	【知】受動態、分子の形容詞的用法、助動詞を含む受動態、to不定詞（形容詞的用法）の意味や構造について理解できる。 【思】点とデザインについて書かれた英文を読み、デザインについて意見を交換したり、インタビューに答えたりすることができる。 【学】日常生活で見られる点字等の工夫について、自分の考えを書いて伝えようとする。					
	Lesson 6 Is This Meat Real or Fake?	【知】関係代名詞（主格）、to不定詞（副詞的用法）関係代名詞（目的格）、関係代名詞whatの意味や構造について理解できる。 【思】食糧問題・環境問題を解決するために代替肉の果たす役割について必要な情報を読み取り、新しい技術について意見を交換することができる。 【学】食料生産の新しい技術について調べ、自分の考えを話して伝えようとする。					
	Lesson 7 Plastic Polluting Our Oceans	【知】比較、It is ~ (for~) +to不定詞の意味や構造について理解できる。 プラスチックごみが環境に与える影響について、30語程度のパラグラフライティングができる。 【思】プラスチックごみが海や海洋生物に与える影響についての英文を読み、環境への影響について意見を交換することができる。 【学】プラスチックごみ問題について、自分の意見を他者に話して伝えようとする。					
	Lesson 8 Manga : A Global Hit!	【知】SV0C（原型不定詞）、It is +形容詞+that節、SVO（疑問施節、SVO（疑問詞節）の意味や構造について理解できる。 マンガについて、基本的な語句や文を使って50語程度のパラグラフライティングができる。 【思】世界に広がる日本のマンガ文化についての英文を読み、マンガについて意見を交換したり、会話したりすることができる。 【学】日本のマンガ文化について、自分の考えや意見をグループ内で発表することができる。					
3学期	Lesson 9 The Mysteries and Secrets of Petra	【知】関係副詞（when, where, why, how）、仮定法過去、完了進行形の意味や構造について理解できる。 【思】ペトラ遺跡の歴史・文化についての英文を読み、ペトラ遺跡の謎について意見を交換することができる。 【学】世界の遺跡に行けるとしたらどんなことを見たり調べたりしたいか、自分の考えを書いて伝えようとする。					
	Lesson 10 Greta Thunberg : No one Is Too Small to Make a Difference	【知】仮定法過去完了、協調構文、分詞構文、SV00（疑問施設）の意味や構造について理解できる。 【思】グレタさんの行動と主張についての英文を読み、環境を守るための活動などについて意見を交換することができる。 【学】自分だったら環境を守るためにどんなことをするか、自分の考えを書いて伝えようとする。					
使用教材 (教科書・ 副教材)	教科書：「Grove English CommunicationⅠ」（文英堂）、副教材：単語帳「Database4800」（桐原書店）、参考書「総合英語be」（いっずな書店）						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。週末課題の活用。						
評価方法	(知) 考査・授業時の観察（ノート・レポート等）・スピーキングテスト、ライティングテスト (思) 考査・授業時の観察（ノート・レポート）・ディスカッション、ディベート (学) 考査・授業での観察（ノート・レポート等）・リスニングテスト						

教科	英語	科目（単位数）	論理・表現Ⅰ（2）	学年	1	類型	全クラス
----	----	---------	-----------	----	---	----	------

学習目標	外国語の習得を通して生徒の人的成長を手助けし、自他の言語や文化に対する関心を高める。 基礎・基本事項を大切に、確かな読解力・表現力を身につける。						
------	---	--	--	--	--	--	--

評価基準	知識・技能	①定期考査の知識・技能：6割 ②各課題・提出物：3割 ③パフォーマンステスト：1割
	思考・判断・表現	①定期考査の思考・判断・表現：6割 ②各課題・提出物：3割 ④パフォーマンステスト：1割
	主体的に学習に向かう態度	①定期考査：4割 ②各課題・提出物：3割 ④パフォーマンステスト：3割

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標
1 学期	Lesson 1: Meeting People	【知】現在形や現在進行形の意味や働きについて理解することができる。 【思】自分や身近な人のことについて、現在形や現在進行形の表現を用いて、ペアで伝え合うことができる。 【学】自分や身近な人の習慣についての情報を書いて伝えようとする。
	Lesson 2: Holidays and Weekends	【知】過去形や過去進行形の意味や働きについて理解することができる。 【思】休日や週末にしたことについて、過去形や過去進行形の表現を用いて、ペアで伝え合うことができる。 【学】過去の出来事について、筋道を立てて書いて伝えようとする。
	Lesson 3: Making Plans	【知】未来の表現の意味や働きを理解することができる。 【思】休日の予定について、未来の表現を用いてペアと情報のやり取りを行うことができる。 【学】休日の予定について、筋道を立てて書いて伝えようとする。
	Lesson 4: Travel	【知】現在完了形の意味や働きについて理解することができる。 【思】旅行の経験について、現在完了形を用いて、ペアで情報のやり取りを行うことができる。 【学】旅行の経験について、筋道を立てて書いて伝えようとする。
	Lesson 5: Study and Activities	【知】過去完了形の意味や働きについて理解することができる。 【思】達成した事柄について、過去完了形を用いて筋道を立てて書くことができる。 【学】達成した経験についての情報を、他者に分かりやすく話して伝えようとしている。
	Lesson 6: Food Culture	【知】可能や許可などを表わす助動詞の意味や働きについて理解することができる。 【思】食事の習慣やマナーについて、可能や許可などを表わす助動詞を用いて、ペアで情報のやり取りを行うことができる。 【学】日本の習慣やマナーについての情報を、他者に分かりやすく話して伝えようとしている。
	Lesson 7: School Life	【知】義務や確信などを表わす助動詞の意味や働きについて理解することができる。 【思】学校の規則について、義務や確信を表わす助動詞を用いて、他者と情報や意見のやり取りを行うことができる。 【学】学校の規則についての情報を、筋道を立てて書いて伝えようとする。
	Lesson 8: Daily Life	【知】意志や推量などを表わす助動詞の意味や働きについて理解することができる。 【思】小・中学校のころによくしたことについて、意志や推量などを表わす助動詞を用いて、グループ内で発表することができる。 【学】小・中学校のころによくしたことについて、筋道を立てて書いて伝えようとする。
2 学期	Lesson 9: Transportation Issues	【知】受動態の意味や働きについて理解することができる。 【思】交通上の安全について、受動態を用いてペアで情報をやり取りすることができる。 【学】交通上の安全について、危険に思うことや改善したいことについて、筋道を立てて書いて伝えようとする。
	Lesson 10: Future Activities	【知】不定詞の名詞的用法の意味や働きについて理解することができる。 【思】将来してみたいことについて、不定詞の名詞的用法を用いて、発表することができる。 【学】自分の将来の夢について、筋道を立てて書いて伝えようとする。
	Lesson 11: Staying Healthy	【知】不定詞の形容詞的用法、副詞的用法の意味や働きについて理解することができる。 【思】具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、不定詞の形容詞的用法を用いて伝え合うことができる。 校内放送で病気予防の呼びかけをする状況で、不定詞の副詞的用法を用いて伝え合うことができる。 【学】健康について、筋道を立てて書いて伝えようとする。
	Lesson 12: New Products	【知】使役動詞・知覚動詞の意味や働きについて理解することができる。 【思】便利な電化製品について、使役動詞・知覚動詞の表現を用いて、やり取りすることができる。 【学】製品の広告文についての情報を、筋道を立てて書いて伝えようとする。
	Lesson 13: Hobbies and Interests	【知】動名詞の意味や働きについて理解することができる。 【思】趣味や興味について、動名詞の表現を用いて、グループ内で発表することができる。 【学】趣味や夢中になっていることについての情報を、筋道を立てて書いて伝えようとする。
	Lesson 14: The World of Nature	【知】分詞の意味や働きについて理解することができる。 【思】与えられた状況について、分詞の表現を用いて伝え合うことができる。 【学】自然を楽しめる場所のレビューについて、筋道を立てて書いて伝えようとする。
	Lesson 15: Trouble and Accidents	【知】分詞構文の意味や働きについて理解することができる。 【思】ニュース記事の内容について、分詞構文などの表現を用いて、グループ内で発表することができる。 【学】最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、筋道を立てて書いて伝えようとする。
Lesson 16: Inventions	【知】関係代名詞の意味や働きについて理解することができる。 【思】お勤めの発明品について、関係代名詞などを用いて、グループ内で発表することができる。 【学】発明品とその機能についての情報を、筋道を立てて書いて伝えるようとする。	
3 学期	Lesson 17: Cities and Towns	【知】関係副詞の意味や働きについて理解することができる。 【思】都市や町の名所について、関係副詞などを用いて、ペアでやり取りすることができる。 【学】都市や町の名所についての情報を、筋道を立てて書いて伝えようとする。
	Lesson 18: Living Environment	【知】比較表現の意味や働きを理解することができる。 【思】都会と地方のどちらがよいかについて、比較表現を用いて、グループ内で発表することができる。 【学】都会と地方のどちらがよいかについて、筋道を立てて書いて伝えようとする。
	Lesson 19: Social Problems	【知】最上級の意味や働きについて理解することができる。 【思】身近な社会問題について、最上級を用いてペアでやり取りすることができる。 【学】身近な社会問題への考えや解決策についての情報を、筋道を立てて書いて伝えようとする。
	Lesson 20: Making a Wish	【知】仮定法の意味や働きについて理解することができる。 【思】現在や過去のことについての願望について、仮定法を用いてペアでやり取りすることができる。 【学】今年度の反省と来年度の抱負についての情報を、筋道を立てて書いて伝えようとする。

使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「be English Logic and Expression I clear」（いっずな書店）、副教材：参考書「総合英語 be」（いっずな書店）、文法問題集「be Clear Grammar book」（いっずな書店） リスニング教材「Hyper Listening」（桐原書店）、構文用問題集「英語構文ワーク」（数研出版）						
-------------------	--	--	--	--	--	--	--

学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。週末課題の活用。						
------	---------------------------	--	--	--	--	--	--

評価方法	(知) 考査・授業時の観察（ノート・レポート等）・スピーキングテスト、ライティングテスト (思) 考査・授業時の観察（ノート・レポート等）・スピーチ、ディスカッション、ディベート、スピーキングテスト (学) 考査・授業での観察（ノート・レポート等）・リスニングテスト						
------	---	--	--	--	--	--	--

教科	家庭	科目（単位数）	家庭基礎（2）	学年	1	類型	全クラス
学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。						
評価基準	知識・技能	考查7割～8割、課題・実習作品・授業等への取り組み状況2割～3割					
	思考・判断・表現	考查7割～8割、課題・実習作品・授業等への取り組み状況2割～3割					
	主体的に学習に向かう態度	考查2割～3割、課題・実習作品・授業等への取り組み状況7割～8割					
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標					
年度初～1学期 中間考査	A編第1章 生涯の生活設計	(知) 人の一生について様々な生き方があることや生涯発達の視点を理解し、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 (思) 男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築く重要性について、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。 (学) 課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実向上を図ろうとしている。					
	A編第2章 青年期の自立と家族・家庭	(知) 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 (思) 男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築く重要性について、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。 (学) 課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実向上を図ろうとしている。					
1学期中間～ 期末考査	B編第2章 衣生活と健康	(知) ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装、材料や構成、衛生を理解し、計画・管理に必要な技能を身に付けている。 (思) 被服の機能性や快適性について問題を見だして課題を設定し、根拠に基づいて論理的に課題を解決する力を身に付けている。 (学) 衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活の充実向上を図ろうとしている。					
	B編第1章 食生活と健康	(知) ライフステージや目的に応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活を理解し、計画・管理に必要な技能を身に付けている。 (思) おいしさの構成要素や食品衛生について問題を見だして課題を設定し、根拠に基づいて論理的に課題を解決する力を身に付けている。 (学) 衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活の充実向上を図ろうとしている。					
1学期期末～2学期 中間考査	ホームプロジェクト活動	夏休みの課題					
	調理実習 1～3回を計画（予定）	(知) 料理の様式に適した料理法や食器、盛り付けなどを踏まえて食事を整えることができる。 (思) 食材の栄養成分やその特徴を調べ、考察を通して、食の案内や食品の調理上の性質をとらえる力を身に付けている。 (学) 自己の食生活についての問題を見だし、健康、安全及び環境などの視点から食生活に関わる情報を適切に判断し主体的に考えることができる。					
2学期中間～ 期末考査	A編第4章 高齢期の生活と福祉	(知) 高齢期の現状と課題、住まいの工夫について理解し、計画・管理に必要な技能を身に付けている。 (思) 安心できる暮らしや共生社会、災害対策について多面的に考察する力を身に付けている。 (学) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。					
	B編第3章 住生活と住環境	(知) 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境について理解し、基礎的な技能を身に付けている。 (思) 子どもを生き育てることの意義について多面的に考察する力を身に付けている。 (学) 子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。					
2学期期末～3学期 学年末考査	A編第3章 子どもの生活と保育	(知) 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境について理解し、基礎的な技能を身に付けている。 (思) 子どもを生き育てることの意義について多面的に考察する力を身に付けている。 (学) 子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。					
	C編第1章 生活における経済の計画	(知) 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している。 (思) 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて多面的に考察できる。 (学) 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。					
	第2層 消費生活と意思決	(学) 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。					
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「未来へつなぐ 家庭基礎」（教育図書） 副教材：「最新 生活ハンドブック資料&成分表」（第一学習社）						
学習方法	毎時間のテーマに対して、自己の家庭生活を考えながら学習すること。実習課題やホームプロジェクトに関しては、作品の提出を行うこと。						
評価方法	(知) 考查7割～8割、課題・実習作品・授業等への取り組み状況2割～3割 (思) 考查7割～8割、課題・実習作品・授業等への取り組み状況2割～3割 (学) 考查2割～3割、課題・実習作品・授業等への取り組み状況7割～8割						

熊本県立人吉高等学校 「総合的な探究の時間」 1年次（案）

学年		1年							
テーマ	自己を知る			到達目標	学習内容（学習教材等）	活動場所	知技	思判表	主体
4月	1	ICT活用	クロームブックの設定・使い方（クラスルーム）	クロームブックの設定とGoogleクラスルーム使い方がわかる。	クロームブック	各教室	○		○
	2	導入	総合的な探究の時間の目的と概要「探究とは」 【課題研究～自由研究と調べ学習との違い～】	総合的な探究の時間の意義と目的の理解や見通しがもてる。	ワークシート	全体集会	○		○
	3	実践	研究テーマを決める ～自分の身近なものや出来事を生かして～	家や地域、義務教育で学んできたことなどについて、興味関心のある学習を基にキーワードを挙げながら研究テーマを決めることができる。★中学校での『総合的な学習の時間』や本校の卒業生の研究要綱も参考に★	ワークシート	各教室	○	○	○
5月	4	実践	研究テーマに関する知識を整理する	思考ツール等を作成して、テーマに関する知識を広げることができる。	ワークシート	各教室	○	○	○
	5	実践	リサーチクエスチョンを導く	リサーチクエスチョンを用いて、7つの問いを立てることができる。	ワークシート	各教室	○	○	○
6月	6	実践	リサーチクエスチョンをもとに現状を把握する	先行研究や事例から現状を把握することができる。	ワークシート	各教室	○	○	○
	7	実践	リサーチクエスチョンをもとに仮説を立てる	リサーチクエスチョンをもとに複数の仮説を立てることができる。	ワークシート	各教室	○	○	○
	8	実践	仮説を検証する調査・実験方法を学ぶ	仮説を検証する調査・実験方法について知る。	ワークシート	各教室	○		○
	9	実践	どの調査・実験方法を用いるかまとめる	自分の研究テーマに適した調査や実験方法を決定し、まとめることができる。	ワークシート	各教室	○	○	○
7月	10	実践	研究計画書の作成様式や方法を学ぶ	研究計画書の作成様式や方法について理解できる。	ワークシート	各教室	○		○
	11	実践	研究計画書を作成する	研究計画書を作成できる。	ドキュメント		○	○	○
8月			研究計画書をもとに研究を実施する					○	○
9月	12	実践	研究計画書をもとに実施した内容を考察し結論を導く方法を学ぶ	研究計画書をもとに実施した内容を考察し結論を導く方法を理解できる。	ワークシート	各教室	○		○
	13	実践	考察・方法をもとに結論を導く	考察・方法をもとに結論を導くことができる。	ドキュメント	各教室	○	○	○
	14	実践	これからの展望を考え、まとめる	結論を基にこれからの展望をまとめることができる。	ドキュメント	各教室	○	○	○
10月	15	実践	研究論文の作成を学ぶ	研究内容のまとめ方について理解できる。	ドキュメント	各教室	○		○
	16	実践	研究内容を様式に合わせてまとめる	研究内容を所定の様式に論文としてまとめることができる。	ドキュメント	各教室	○	○	○
	17	実践	作成したドキュメントをもとにスライドを作成する方法を学ぶ	スライドの作成手順を理解できる。	スライド	各教室	○		○
	18	実践	ドキュメントをもとにスライドを作成する	スライドの作成手順をもとにスライドを作成できる。	スライド	各教室	○		○
11月	19	実践	ドキュメントをもとにスライドを作成する	スライドの作成手順をもとにスライドを作成できる。	スライド	各教室	○		○
	20	実践	スライドをもとにクラス内で共有する	スライドをもとにクラス内で自分の研究について発表することができる。	スライド	各教室			○
	21	実践	2年生の報告会を聴講する	2年生の探究コースの発表を聞き、今までの自分の研究テーマの実践を振り返る。	ワークシート	全体集会	○		○
12月	22	導入	2年次の探究コースについての説明	2年次の総合的な探究の時間についての意義と目的を理解できる。	ワークシート	全体集会	○		○
	23	実践	2年次の探究コースを決定する	探究コースをもとに自分の興味関心のある分野についてのテーマ研究を設定できる。	ワークシート	各教室	○	○	○
1月	24	実践	探究コースの希望調査		ワークシート	各教室		○	○
	25	実践	テーマ決定から一連の流れの実践①【個人研究】	一連の「探究学習の型」を利用しながら2年時のコース探究に繋げる。	ワークシート	各教室		○	○
	26	実践	テーマ決定から一連の流れの実践②【個人研究】		ワークシート	各教室		○	○
2月	27	実践	テーマ決定から一連の流れの実践③【個人研究】		ワークシート	各教室		○	○
3月	28	実践	1年次のまとめと2年次の準備【2年次の探究コースの決定】	2年次の探究コースの決定	ワークシート	各教室		○	○
	29	実践	1年次のまとめと2年次の準備【2年次の探究コースの決定】	2年次の探究コースの決定	ワークシート	各教室		○	○

図書館で探究での書籍の活用方法をクラスローテーションでガイダンスを行う。